

SL I 「ナノテクのサイエンス ～結晶生成と比較対照実験 I (第1週目)」 ルーブリック

観点	内容	点数	基準	自己評価	教員評価
思考・判断・表現	仮説の設定 ・行動観察	3	課題に対して、仮説を立ててから取り組んでいる。		
		2	課題に対して、仮説を立てずに取り組んでいる。		
		1	課題に対して、取り組んでいない。		

観点	内容	点数	基準	自己評価	教員評価
思考・判断・表現	実験の計画 ・行動観察	3	仮説を検証するために、現実的にできそうな実験を計画している。		
		2	仮説を検証するための実験を考えている。		
		1	実験を考えていない。		

自分の研究を自己評価しよう！ (2週目の授業後に評価してください)			3	2	1	0	自己評価	
	I	知識・理解	テーマの立て方	独創的で、明確なテーマが設定されている。	明確で、実現可能なテーマが設定されている。	実現可能なテーマが設定されている。	実現可能なテーマではなかった。	
	II	知識・理解	実験のデザイン	仮説を立て、目的に適した実験方法を考え、工夫し主体的に実験していた。 (実験技術習得のための先行研究をなぞる実験も含む。)	テーマに沿った実験方法を考え、実験していた。(実験技術習得のための先行研究をなぞる実験も含む。)	テーマに適した実験方法が考えられず、実験していた。	実験をしていない。	
	III	思考・判断・表現	比較対象の条件設定	比較対象したいものが、揃える条件と変数とする条件が明確に記されており、それによって生じる結果の仮説を科学的根拠に基づいて記されている。	比較対象したいものが、揃える条件と変数とする条件が明確に記されており、それによって生じる結果の仮説を自分なりに考え記している。	比較対象したいものが、揃える条件と変数とする条件が明確に記されているが、それによって生じる結果の仮説がない、もしくは不十分である。	比較対象したいものが、揃える条件と変数とする条件が明確に記されていない。	
	IV	思考・判断・表現	結果の考察	2を満たしかつ、根拠となる資料の引用も記されている。(文章及び引用元が明確に記されている)	1を満たしかつ、それが科学的根拠に基づいて記されている。	生じた結果に対して、なぜその結果が生じたのかが、人にわかるようにつ説得力をもって記されている。	1の記述がないもしくは不十分。	
	V	思考・判断・表現	実験の理解度	結果・考察を踏まえ、どのような原理で結晶化が起こるのかを分かりやすく説明できる。	結果・考察を踏まえ、どのような原理で結晶化が起こるのかを説明できる。	結果・考察を踏まえ、どのような原理で結晶化が起こるのかをなんとなく分かる。	どのような原理で結晶化が起こるのかから分からない。	

SL I 「ナノテクのサイエンス ～結晶生成と比較対照実験Ⅱ（第2週目）」ルーブリック

観点	内容	点数	基準	自己評価	教員評価
思考・判断・表現	他者への発表 ・発表の様子	3	仮説、実験方法、考察等を表やグラフ、イラストなどを用いてわかりやすく伝えている。		
		2	仮説、実験方法、考察等を伝えている。		
		1	仮説、実験方法、考察等を伝えていない。		

観点	内容	点数	基準	自己評価	教員評価
主体的に学習に取り組む態度	他者への発表 ・発表の様子	3	グループのメンバーと協力して発表している。		
		2	グループのメンバーと少しだけ協力して発表している。(例、タイトル読み上げ、スライド送り)		
		1	グループは発表したメンバーに協力しようとしていない。		

